

「障がい者の小規模な住まいのあり方と介護体制を 考える研修会～共同住宅から地域での自立を始める」

Part. 3 ケアホーム・グループホーム・入所施設・ひとり
くらしでもない障がい者の地域での多様な暮らしを考えよう

兵庫県伊丹市 有限会社しえあーど NPO法人地域生活を考えようかい
李 国本 修慈

1. しえあーど&地域生活考えようかいについて
2. 前回の研修会や北海道札幌等々について
3. 「誰もが暮らせる地域づくり事業」(なんてことをやりました)から
4. で、『考える』研修会として・・・



1. しえあーど&考えようかいについて(自己紹介も含めて)

2000年9月～

特定非営利活動法人地域共生スペースぷりば

時間1000円でなんでも・・・

ガイドヘルプ(移動介護) 全身性介護人派遣制度

緊急一時保護者制度 移送サービスなど

2003年4月～

有限会社しえあーど

居宅介護(重度訪問介護・行動援護含む)

訪問看護ステーション

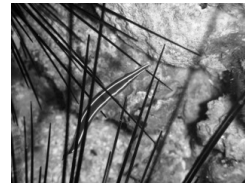
短期入所 相談支援

日中一時支援 移動支援

特定非営利活動法人地域生活を考えようかい

その他色々・・・自費サービスとかスペース開放とか

移送サービス イベントなどなど



現在の利用者数 約150名

医療的ケアを必要とされる方

気管切開されている方 28名

口腔内吸引を要する方 44名

経管栄養摂取される方 44名

胃ろう 31名 経鼻 13名

人工呼吸器を利用されている方 14名

酸素吸入を要する方 23名



しえあーどのみなさん





しえあーどの支援体制

スタッフ数

常勤 14名の直接介助スタッフ(男9名女5名)

上記スタッフが中心となって日々の支援を行っています

その月額給与は178000～272000、平均200200円

2008年度分/泊まり手当で・賞与は含まず

非常勤 約25名

内、看護師10名(常勤4人)

事務職員 常勤 3名 非常勤1名



2009年はスタッフ給与は360万超え
となりました(一部ですが・・・)

設備は？

マンションの1室(2LDK)を利用

2004年からは、空き店舗を改装して利用

大きな(と言ってもユニットバスの最大級のモノ)お風呂

事務専用の1室

現在、新たな拠点に移る計画作成中・・・今年の夏くらいに完成う!?

<http://www.kangaeyo-kai.net/fspace/fsp100123.pdf>

上記及び駐車場等の賃貸料が、月額約40万円・・・

特に目立った医療機器があるわけではありません



広いような、狭いような・・・



約120坪 地代20万円(格安)
建築費 約7000万円(予定)
月々70万円×10年!! がんばろー!!!

マイカーと比較



大切にしていること

理念の確立。

地位生活支援ということの追求。支援思想。

「しょうがい」児・者と言われる方々の価値（についての定義についても深い考察が必要）を示していくこと。

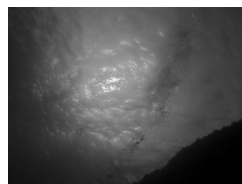
彼女・彼等の「はたらき」＝「地域で最も重度とされる方々が暮らしていく・いける地域社会」を共に創っていくという考え。

もちろん「最も重度」などという言葉は他者が作る言葉であり、その人その人（及び関わる方々＝多くは家人、母親、姉妹・兄弟等）の「大変さ」にしっかりと向かい合うということ。すなわち誰もが暮らしやすい街づくりの一端を担うということ（決して障害の程度や医療的ケアの有無などがそれを決めるのではないという事も）。



今、しえあーどでは、一人の方の暮らしを事業所内で成り立たせています… と言っても、。。。。。

かれこれ1年と数ヶ月…この夏で2年目で…



新拠点の一室は、北海道で得た感じの彼の一室…

だけでも、それも、その先への一時的な住処であって。。。

なかなか難しいのですが、「誰もが」…は成し得ていきたい。。

しかし、前途は多難ですね… でもないか…、も。

2. 前回の研修会や北海道札幌等々について

とにかく寒い・・・はともかくとして（けっこう関係ある?）、出会うみなさんとってもあったか（温か）で・・・。

「共同住宅」というモノの持つ意味を色々考えました。。

『ガーダぱーと』さんだとか、『フロンティア』さんとか。。

更には『自立ホーム24』ですとか、未だ見てないですが『アンビシャス』さんや『エンデバー』さんとか・・・。。

私らあたり（主に阪神間という処）では見当たらないカタチ・・・

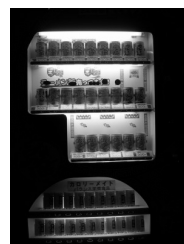
共同住宅という言葉の意味・・・「住宅」「建物」とかではない「共に暮らす（共同生活）」場としての・・・。。

そこには「在る筈」の本人さんが望む「暮らしのカタチ」があって、決して「安心」だとかという言葉に置き換えられた「カタチ（管理）」ではなく・・・

ホップさん



ラーメンサラダ・・・



ラーメン缶・・・

彼女のお部屋



かわいいですね。。



おっちゃん少し照れました・・・



3. 「誰もが暮らせる地域づくり事業」(なんてことをやりました)から

様々な地域から出てくるあれこれ

私ら阪神地域でも・・・一人暮らしや二人暮らしとか。。

横浜・東京・川崎などなど・・・ケアホームのカタチも色々。

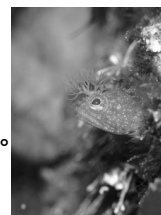
長野もすごいし・・・大阪や宮城も面白い。。

医療的ケアネットにみられる「医療」としての役どころとか・・・

だけでも決して充足でもなくて、何かが足りない。。

『誰もが暮らせる』なんてことはどうなんだ、とか。。

「誰もが」暮らしていくには、「誰もが」参画していくよーに、と・・・



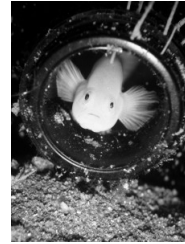
4.で、『考える』研修会として・・・

北海道にみられるステキなあれこれ

『北海道障がい者条例』とか・・・

『北海道地域生活移行システム』とか・・・

その他いろいろ・・・



方や札幌市にみられる（というか、見えてこないというか）の・・・

色々・・・ ガイドライン?/330時間の及ぼす諸々・・・

特別障害者手当のこと、とか・・・

元気な北海道の中の、なんだか困った感じの札幌みたいな・・・

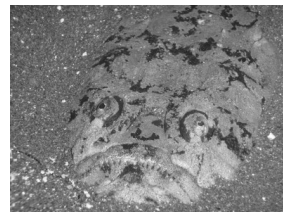
・・・ですが。。。

「ひとつの実践例がいくつもの困難を浮き彫りにします。そして次ぎの工夫が生まれます。」「知恵を出し合い、障がいのある方だけではなく誰もが暮らしやすい地域が増えていくことを願います」

「わーかーびー」さんの昨年度の調査研究書から・・・

いろいろ考えてみたいものです。。

ほんとに揺れ動く世の中で。。



様々なカタチや手法を見聞させていただきながら。。

結局は社会の構造そのものを転換させなければ全ては変わらないのかも知れませんが・・・

それでもどれでも続く「暮らし」が在る訳で・・・

つづき、繋がりながら、切れずに折れずに行きたいもんです。。

いつかは、誰もががんばらなくてもいい社会になりますように。。

今回もとっても美味しいお魚などなど
いただきました。。



ラーメンサラダもね。。



おしまい・・・

